# DK VOICE 1

第39期 株主通信 VOL.1

2011年4月1日→2012年3月31日


01 ご挨拶

02 ビジネスモデルを解く

03 新社長インタビュー

05 2012年3月期 連結決算レポート

07 トピックス

09 シリーズ ダイコクストーリー

10 「DK-SIS白書2011」ダイジェスト

14 会社及び株式の状況


ダイコク電機株式会社

証券コード 6430

01 ご挨拶

## 新経営体制のもと、事業構造を改革し さらなる成長性を確保してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、平素より当社事業へのご理解と格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。

当社は2012年4月1日付で、前代表取締役副社長 栢森秀行を代表取締役社長とする新経営体制を発足いたしました。前代表取締役社長 栢森雅勝は代表取締役会長として、新社長をサポートしてまいります。今後は新経営体制のもと、新事業への参入をはじめとする事業構造改革を推進し、さらなる成長性を確保してまいります。

株主の皆さまには、これまで同様のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長　栢森 秀行

# ダイコク電機が展開する情報

**情報が生み出す付加価値をパチンコホール・遊技機メーカー・パチンコファン**
**パチンコ業界を変革してきたダイコク電機。ここにそのビジネスモデルを俯**

## はじめに、ダイコク電機の事業領域について

### 情報システム事業

当期の売上比率
54.7%

パチンコホール向けコンピュータシステムや景品顧客管理システム、情報公開機器など、ホール運営を支援するさまざまな機器・サービスを開発、提供します。

パチンコファンにとって、より快適で楽しめるホール環境を創り出すとともに、パチンコホールにおける経営効率の向上を実現し、市場の拡大に寄与します。

### 制御システム事業

当期の売上比率
43.4%

パチンコ・パチスロ遊技機メーカーに対し、遊技機の表示ユニットや制御ユニットのハードウェアおよびソフトウェアを開発、提供します。

遊技機メーカーのパートナーとして、製品企画から版権提案、データに基づいたスペック提案、セールスプロモーション、稼動支援まで、幅広くサポートします。

### アミューズメントコンテンツ事業

当期の売上比率
1.9%

ゲームなどアミューズメントソフトやモバイルコンテンツの企画・開発および販売を行います。元気株式会社および元気モバイル株式会社が事業を展開しています。

アミューズメントコンテンツ事業 905百万円

制御システム事業 20,463百万円

情報システム事業 25,741百万円

# 流通戦略とは？

の3者にもたらし、
瞰します。

## 情報流通 1 パチンコホールを変革する

パチンコファンの声を活かした「情報流通」が、ホールに変革をもたらしました。遊技の楽しさを倍増させ、ホールとファンとのコミュニケーションを実現する情報公開機器。そして、ファンの動向を捉えるコンピュータシステムと情報提供サービス。これらは、今やホール運営に不可欠な存在となっています。

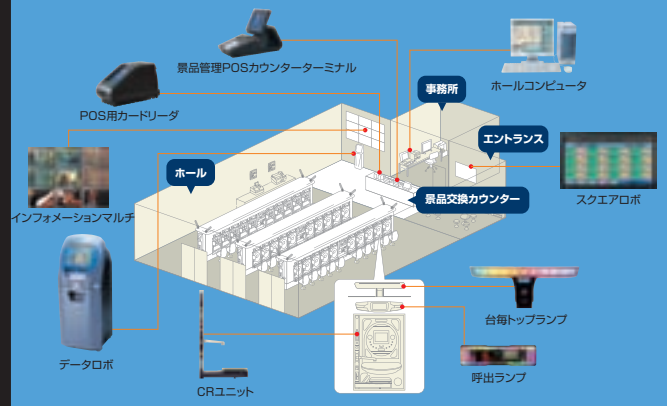
## 情報流通 2 遊技機メーカーを変革する

急速な技術革新の中でしのぎを削るパチンコ・パチスロ遊技機メーカー。時代のニーズにいち早く対応する「情報流通」が、表示ユニット・制御ユニット開発のカギを握ります。最新技術の導入によるコンテンツ制作等の先進性に加え、ファン動向のデータを活用した提案は、ダイコク電機の最も得意とするものです。

## 情報流通 3 パチンコファンを変革する

パチンコファンに対しては、ホールの情報公開機器で提供するコンテンツ以外にも、PC・モバイルサイトを通じて発信する加盟ホールの出玉情報や各種遊技機情報など、楽しさを伝えることでファンの行動を巻き込む「情報流通」を展開。ファンを変革する仕組みづくりに積極的に取り組んでいます。

### パチンコホールに提供する当社製品




ホールコンピュータを中心とする運営支援システムと、さまざまなファン向け情報公開機器が連動し、双方向コミュニケーションの拡充とともにホールを活性化します。

**解説 ホールコンピューティングシステム「CⅡ」**

パチンコホールの状況だけでなく、ネットワークを通じてファンの動向や遊技台の性能をリアルタイムに把握。ファンの声に基づいた集客戦略を実現します。

**会員制情報提供サービス「DK-SIS」**

当社と会員パチンコホールとの間に情報ネットワークを構築。業界髄一の規模で、日々変化する遊技機動向や営業データなど、付加価値の高い情報を提供します。

「DK-SIS」については P10 をあわせてご参照ください。

**「MIRAIGATE」ネットワーク**

システム・サービス・スタッフの3つの力を融合した価値提供サービス。ホールの営業戦略や、集客戦略、運用・管理などをトータルに支援します。

03 新社長インタビュー

# パチスロ事業・CR ユニット事業がスタート。事業規模の拡大に向けたチャレンジ。

**当社は、今年4月1日より新経営体制のもと、2つの新事業参入を軸とする事業構造改革をスタートしました。新生ダイコク電機が目指す成長ビジョンについて、代表取締役社長に就任した栢森 秀行にインタビューしました。**

代表取締役社長　栢森 秀行

## 強みを活かし、**業界の中で新たな可能性**を拡げていく

**Q 新経営体制の発足と目指す方向性について**

**A** 私は、これまで副社長として経営に携わってきましたが、後に述べますように、長年準備を進めてきた新事業への参入が今春より具体化し、それに合わせた社内の変革を進めていく上で、言わばその旗頭として代表取締役社長を拝命いたしました。

当社の強みは、業界にかつてなかったものを生み出すアイディア力と技術力、その品質を維持することで築き上げたブランド力、そして営業力・サポート力にあります。ここに挙げた強みを育んできたのは、社員が一丸となって頑張り抜き、新たなものにチャレンジするという企業風土だと思います。

今後、当社が中期的に目指していくのは、これら強みを引き続き活かしながら、業界の中で新たな可能性を拡げていくことです。その取り組みをしっかりと進めていくことが、これからの成長戦略の要となります。

パチンコ業界は、世の中におけるテクノロジーの進化を積極的に取り入れて発展してきた業界です。より多くのファンを惹き付け、快適さや楽しみを向上させるために、さまざまなデバイスが開発・導入されてきました。業界がさらに発展し続けていくために、これからは遊技機としてのゲーム性を踏まえながらも、人の感情を揺さぶり、感動させるような幅を持ったコンテンツが必要になってくると考えています。

当社は、新事業への参入を柱とする今後の取り組みの中で、そうした可能性に挑戦していきます。

**Q 当期（2012 年 3 月期）の営業状況は？**

**A** 東日本大震災の発生を受け、当期はさまざまな影響が懸念されていました。しかし、当社の会員制情報提供サービス「DK-SIS」を通じて見た全国パチンコホールの営業状況では、5月以降全般的な傾向として大きな落ち込みがなく、底堅さが示された1年間でした。特にパチスロは、新たな遊技性を備えた機種が投入されて人気を呼んだことから、好調が目立ちました。

当社の情報システム事業では、そうしたパチスロ新機種の演出に有効な情報公開機器「BiGMO」が高評価を得て販売を拡大し、ホールコンピューティングシステム「CⅡ」の導入にもつながりました。また、制御システム事業も、当社が携わった機種が市場で高い評価を受け、販売台数を伸ばしました。費用面では、震災ダメージへの対応として進めた経費削減等の引き締めが功を奏し、利益率の改善をもたらしました。

以上により、当期の連結業績は、増収とともに大幅な利益回復を果たしました。

**CRユニットとは？**

CRパチンコ・パチスロ遊技機と接続して玉貸操作を行う機器。近年では多機能化が進み、遊技中のファンの利便性を高めている。



# 2つの新事業を軌道に乗せるべく、**全社を挙げて推進**

## Q 新事業の立ち上げと今後の展開について

**A** 当社は今期（2013年3月期）より、2つの新事業をスタートしました。1つは、自社ブランドによるパチスロ市場への本格参入です。もう1つは、全くの新規参入となるCRユニット事業の立ち上げです。

パチスロ市場では、子会社DAXEL株式会社より過去2機種リリースしていますが、昨年7月に日本電動式遊技機工業協同組合（日電協）にDAXELが加盟し、今期より本格展開していくものです。子会社の元気株式会社が培ってきた映像技術やアミューズメント性に富んだゲームの開発力を活用し、優れた版権によるコンテンツ作りをパチスロ遊技機の開発に発揮していきます。制御システム事業を通じて、高性能のチップを大量に仕入れるためのルートを有している点や、DK-SISによる分析力を活かせることも当社の強みとなります。

パチスロ事業については、数年内に中堅メーカーとしてのポジションを獲得すべく、積極的な開発投資を行っており、今期は複数機種の投入を予定しています。

一方、CRユニット事業については、ホールコンピュータメーカーならではのセキュリティレベルと利便性の高さを武器に、今年4月1日に投入した「VEGASIA（ベガシア）」の導入を進めていきます。多機能化したCRユニットを使いやすくする、映像技術を活かしたユーザーインターフェイスが強みであり、顔認証システムの搭載によるファン動向の分析など、先進的なオプションサービスも提供します。

当社では、この2つの新事業を軌道に乗せるべく、開発体制の刷新と営業機能の強化をはかり、全社を挙げて取り組んでいきます。同時に、既存事業についても従来以上の力で推進し、業界内で盤石の地位を維持することで、事業規模の倍増を実現したいと考えています。

## Q 株主の皆さまへのメッセージとして

**A** 当社は、株主の皆さまへの利益還元について、安定配当をベースとしつつ、業績に連動した形で実施させていただくことを基本方針としています。同時に、成長投資のための内部留保についても勘案し、当期の期末配当につきましては、1株当たり30円（前期同額）とさせていただきました。これにより、中間配当と合わせた年間配当額は、同40円（前期同額）となりました。さらなる業績の向上により、株主の皆さまへの還元を拡充すべく、努力してまいります。

新生ダイコク電機は、これまで築き上げてきたブランド・クオリティをしっかりと守り、着実な成長を維持しつつ、新たな発展に向けた変革を進めていきます。

株主の皆さまにおかれましては、当社事業の今後にご期待いただき、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

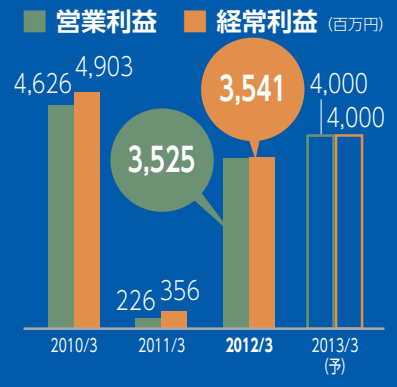
### プロフィール

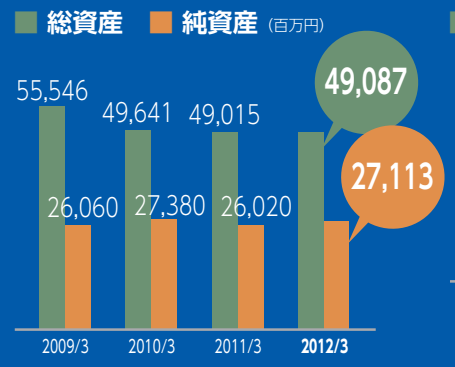
栢森 秀行（かやもり　ひでゆき）

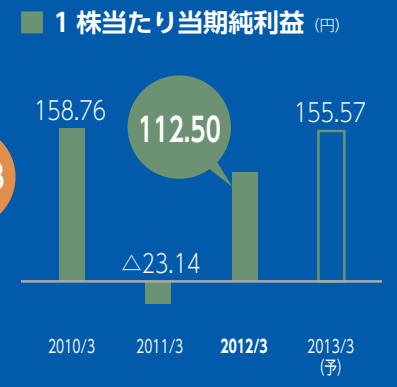
| | | |
|---|---|---|
| 生年月日 | 1968年8月13日 | |
| 出身地 | 愛知県 | |
| 最終学歴 | 京都大学大学院情報学研究科システム科学専攻<br>博士前期課程修了 | |
| 略　歴 | 1988年 6月 | 監査役就任 |
| | 1989年 6月 | 取締役就任 |
| | 2000年 6月 | 代表取締役専務就任 |
| | 2005年 4月 | 代表取締役副社長就任 |
| | 2012年 4月 | 代表取締役社長就任（現任） |

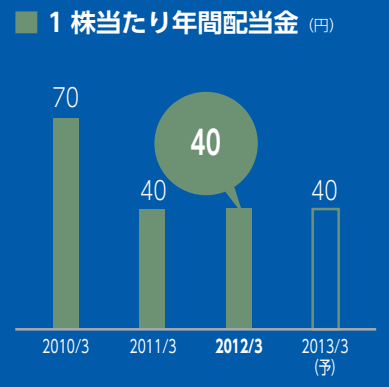
# ホール向け情報公開機器や遊技機用表示ユニットが好調

## 主要経営指標等の推移





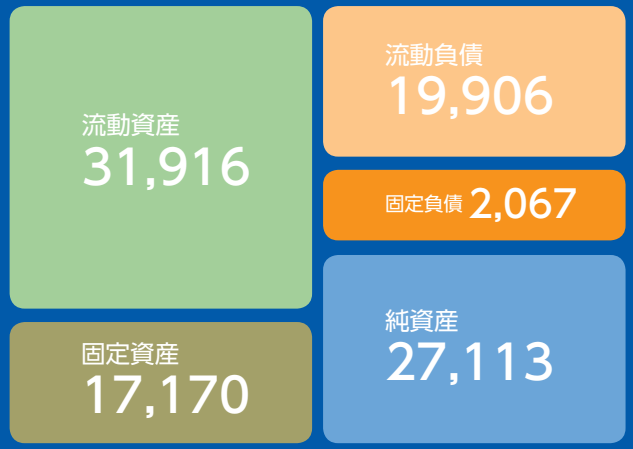



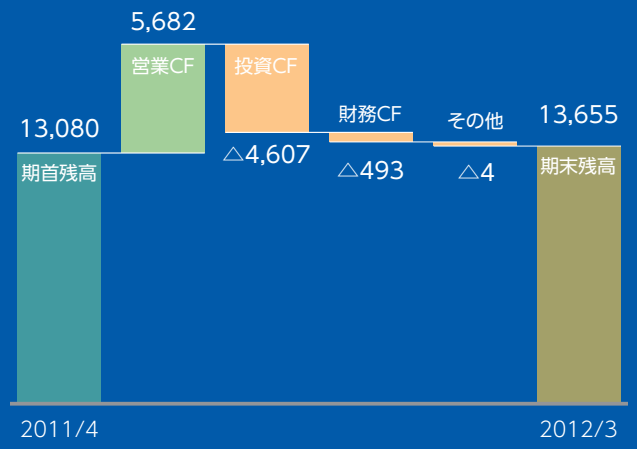

**当期のポイント ▶**

1. 好調なパチスロ遊技機の増台に合わせ情報公開機器が販売増加
2. ホール経営サービス「CⅡスタンダード」会員数が好調に拡大
3. 関与した遊技機が市場で高い評価を受け販売台数が好調に推移

## 資産の状況 (百万円)




## キャッシュ・フローの状況 (百万円)

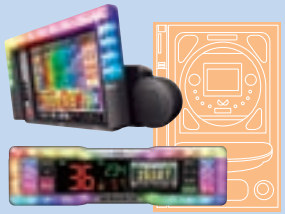


## セグメント別の状況

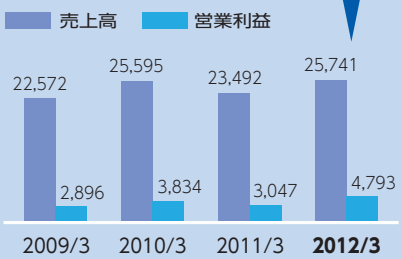
### 当期の営業概況

### 対処すべき課題と次期の見通し

#### 情報システム事業



売上高 25,741百万円　営業利益 4,793百万円



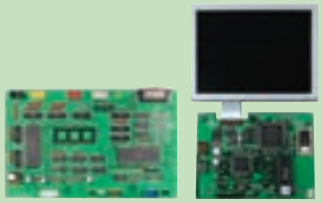

MIRAIGATEネットワークを活用したホール経営サービス「CⅡスタンダード」の拡大を推進し、パチスロ遊技機の大型機種の導入に合わせて情報公開機器「BiGMO」が高く評価され、ホールコンピューティングシステム「CⅡ」の導入にも繋がりました。この結果、売上高は257億41百万円（前期比9.6％増）、営業利益47億93百万円（同57.3%増）となりました。

**対処すべき課題と次期の見通し**

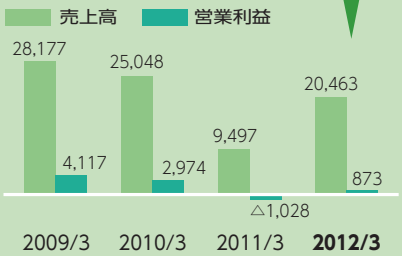
売上高 28,000百万円　営業利益 4,200百万円

「ネットワーク」をコンセプトとして、MIRAIGATEシステムとネットワークサービスの強化をはかり、シェアビジネスの確立を目指します。売上高280億円（前期比8.8％増）、営業利益42億円（同12.3%減）を計画しております。

#### 制御システム事業



売上高 20,463百万円　営業利益 873百万円




パチンコ遊技機市場において、昨年9月までは震災による半導体供給への影響があり販売機種数・販売台数が減少しましたが、当事業が携わった機種が市場で高い評価を受け、販売台数が好調に推移しました。この結果、売上高は204億63百万円（前期比115.5％増）、営業利益8億73百万円（同19億2百万円増）となりました。

**対処すべき課題と次期の見通し**

売上高 26,000百万円　営業利益 1,600百万円

顧客への貢献を念頭に、顧客ニーズの掘り起こし、全ての意思決定のスピードを向上、企画開発体制を強化、生産業務の統合などをはかり、顧客にとっての最適化を追求します。売上高260億円（前期比27.1％増）、営業利益16億円（同83.3%増）を計画しております。

#### アミューズメントコンテンツ事業

コンシューマゲームにおいて、前連結会計年度に受託しました大型案件を中心に開発を行いました。この結果、売上高は9億5百万円（前期比42.0%減）、営業損失2億89百万円（同2億30百万円減）となりました。

**対処すべき課題と次期の見通し**

企画力と開発品質の向上で信頼を強化し、大手ゲーム会社向け事業の拡大を目指します。売上高10億円（前期比10.5％増）、営業利益30百万円（黒字化）を計画しております。

# 新製品の発表、展示会やセミナーの開催 ダイコク電機の「今」をお伝えします。

## NOW 呼出ランプ20年目の集大成「IL-X」

呼出ランプILシリーズ約5年ぶりのフルモデルチェンジとなる「IL-X」を2012年2月に発売しました。発売以降需要に供給が間に合わないほどの大好評をいただいております。

### セールスポイント！

**圧倒的な存在感**

横幅442mmの業界最大級のボディと∞型のイルミネーションにより圧倒的な存在感を実現しました。

**見やすいデータ表示部**

大当たり表示には「超デカセグ」、右側データ部には「美麗液晶」を搭載したことでお年寄りにも見やすいデータ表示部を実現しました。

## NOW CR ユニット「VEGASIA」

2012年4月にCRユニット「VEGASIA（ベガシア）」をリリースしました。VEGASIAは単なるCRユニットではなく、ホールコンピューティングシステム「CⅡ」の端末機器としてその機能をフル活用できるようになっています。2月上旬よりパチンコホール及び販売店向けに行いました内覧会では、お客様から高い評価をいただいております。

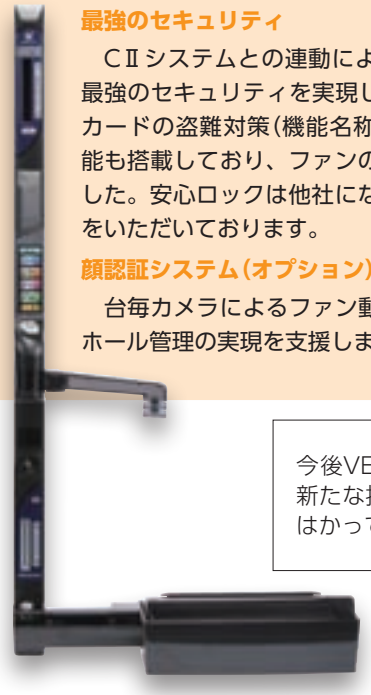
### セールスポイント！

**最強のセキュリティ**

CⅡシステムとの連動により不正計数対策等最強のセキュリティを実現しました。また、ICカードの盗難対策（機能名称：安心ロック）機能も搭載しており、ファンの安心にも配慮しました。安心ロックは他社にない機能として好評をいただいております。

**顔認証システム（オプション）**

台毎カメラによるファン動向分析で、新たなホール管理の実現を支援します。



今後VEGASIAを軸とした新たな提案でCⅡの拡販もはかってまいります。

## NOW「パチ・スロ サイトセブン TV」スマートフォン対応

リリースされて以来多くのパチンコ・パチスロファンから支持いただいております携帯電話3キャリア公式・PC動画サイトで展開している「パチ・スロ サイトセブンTVmobile」のスマートフォン対応版を2012年3月にリリースしました。

ドコモ以外の携帯キャリア向けでは動画時間を短くしたものしか配信できませんでしたが、スマートフォン対応版では放送番組をまるごと視聴いただけるようになりました。

今後も良質のコンテンツを放送・通信という手段を使いパチンコ・パチスロファンに届けることで業界の活性化に貢献してまいります。

パチ・スロ サイトセブンTVがスマートフォンに対応！

# など

## NOW モバイル情報サービス「DK-SISmobile」

「DK-SISmobile」はスマートフォンを活用して、自店の営業状態や、DK-SIS（※1）の最新情報をご覧いただけるサービスです。常に持ち歩くスマートフォンを利用したサービスだからこそ、「いつでも」「どこでも」気になったときにすぐ店舗の営業状態をご確認いただけるという点が特長です。

「DK-SISmobile」を利用すれば、複数の店舗管理をされている方々がどこにいても全店舗の状況を把握することが可能です。また、日々長時間営業されているパチンコホールにおいて、店舗の営業責任者の方が勤務時間外でも営業状態を確認していただけます。

個人が所有する端末へのサービスである「DK-SISmobile」では、ホールに従事する責任者の方々とダイコク電機との結びつきを強く意識して今後もサービスを強化してまいります。

※1）「DK-SIS」とはダイコク電機が実施しているパチンコホール向けの情報サービスです。ダイコク電機と会員ホールをネットワークで接続し、全国の会員データを元に「DK-SISサーバ」で集計した最新の業界動向をご覧いただくことができます。

## NOW DK-SISセミナー

2011年11月16日の東京会場を皮切りに、全国5会場で経営者・営業責任者を対象にした2部構成のセミナーを開催しました。

セミナー内容につきましては、8月に施行された「イベント・広告規制の明確化」により、「煽り（あおり）」という目に見える集客ツールを失ったなか、「来店していただいたファンをどのように自店舗のファンへと囲い込んでいくか」を第1部・第2部共通の重要テーマとして掲げました。

| | |
|---|---|
| 第１部 | 「戦略的花形活用でパチンコファンを囲い込め！」 |
| 第２部 | 「パチスロ今が転換期！対応策の正解・不正解？！」 |

第1部はパチンコを中心に、店舗で軸となる「花形機種＝お勧め商品（薄利であるが多く売れる）」の割合と、4円パチンコ全体の業績との関係を確認したうえで、効率的な花形機種の増やし方や、ファンの不満を取り除く「スタート停止時間（図柄が回っていない状態）管理」の重要性など、ファンが再来店したくなる遊技環境の構築を提案しました。

第2部ではパチスロにおいて、花形機種として活躍していた「ジャグラーシリーズ」が大きく業績を落としている背景から、今後は多台数導入していくART機種（番長２・北斗の拳など）を花形として育成する必要性と、ファンのニーズに応える情報公開のあり方について解説しました。

全体を通しては、今まで感覚に頼らざるを得なかった不満材料を可視化できる「スタート停止時間管理」が、データ管理の新しい切り口として来場者から非常に高い評価をいただきました。

今後も膨大な収集データをバックボーンに、業界のリードオフマンを目指し、さまざまな情報・製品・アイディアを業界へ発信していけるよう努めてまいります。

| 会　　場 | 受講者数 |
|---|---|
| 東京会場 | 300名 |
| 福岡会場 | 170名 |
| 名古屋会場 | 280名 |
| 大阪会場 | 280名 |
| 大宮会場 | 170名 |
| 合　　計 | 1,200名 |

## NOW IR個人投資家向け企業説明会に参加

2012年3月1日(木)に名古屋市中区のダイテックサカエにて開催されました三菱UFJモルガン・スタンレー証券主催の個人投資家向け企業説明会に参加しました。

当社の説明には約150名の方にご参加いただき、社長の栢森雅勝から業界動向や事業内容、今後の戦略などの説明をさせていただきました。ご来場いただきました株主・投資家の皆さま、誠にありがとうございました。

今後も継続的にIR活動を行い、当社の知名度・認知度の向上に努めてまいります。

09

シリーズ
ダイコクストーリー
「ものづくり探訪録」1

# 呼出ランプ20年目の集大成
# 「IL-X」開発レポート

**パチンコ業界に新たな価値を提供し続けるダイコク電機。その「ものづくり」にまつわる物語をシリーズでお届けします。第1回目は、呼出ランプの新製品「IL-X」を採り上げます。**

語り手
情報システム事業部
営業企画部　企画開発課
主任　**龍田 幸拓**（たつだ　ゆきひろ）


## ●呼出ランプとは？その20年にわたる歴史

今回、私が企画開発を手掛けた「IL-X」は、当社呼出ランプ「ILシリーズ」の新製品です。

呼出ランプとは、遊技機の上部に設置される機器で、遊技中のお客さまがホールの店員を呼び出す際に点灯させるものです。当社は、その多機能化の先駆けとして、業界初の大当たり回数や打ち止め回数の表示機能を備えた「IL-10」を市場投入しました。1990年のことです。その後、呼出ランプは進化を続け、スランプグラフや個人データ、過去データなど表示機能を拡大しつつ、それらを表現するデバイスもモノクロ液晶、VFD、カラー液晶へと変化してきました。また、イルミネーションによる演出効果も、カラーLEDの導入など、より高度なものになっています。

## ●より見やすく鮮やかに、「IL-X」の企画開発テーマ

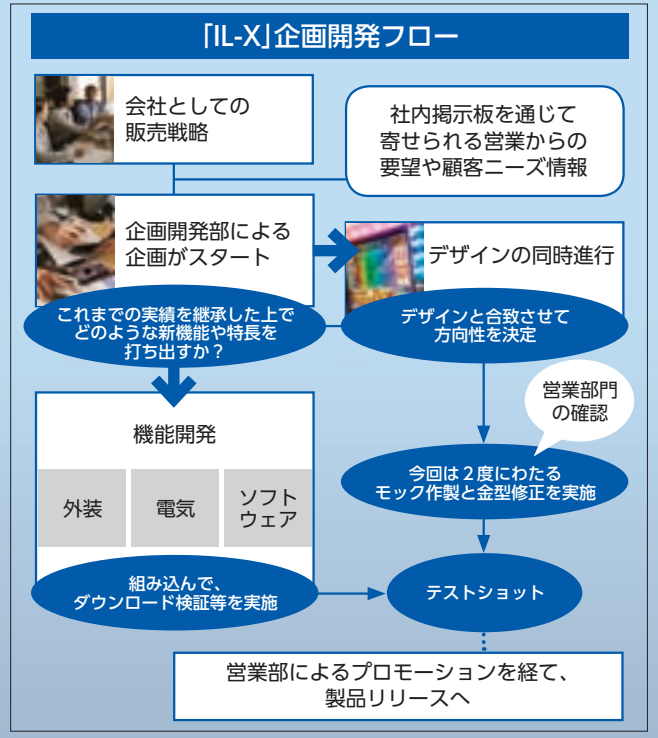
「IL-X」の企画開発では、複雑化した呼出ランプのデータ表示を、より見やすいものにしたいというテーマがありました。また、従来の当社製品よりも鮮やかさや華やかさを高めた、迫力あるイルミネーションを望む声に応える製品を目指しました。こうした声は、社内のイントラネット上の掲示板を通じ、営業からの要望や顧客ニーズ情報として寄せられます。

表示コンテンツでは、パチンコ機種の内容に連動した演出や表示をホールコンピューティングシステム「CⅡ」を通じて自動的にダウンロードし、演出効果を相乗的に高める機能を備えました。開発上の難所は、より華美なイルミネーションの実現でした。LEDを効果的に輝かせるべく、LEDの配置やリフレクターの形状の工夫を重ね、2度にわたるモック（試作模型）の作製と金型修正を経て、ようやく完成に至りました。

## ●従来のイメージを打ち破った製品として高評価

「IL-X」の企画開発は2011年2月にスタートし、ちょうど1年をかけての製品リリースとなりました。社内外からの評価は高く、これまで上品な傾向が強かった当社製品のイメージをいい意味で打ち破った華やかな製品として、市場に受け入れられています。

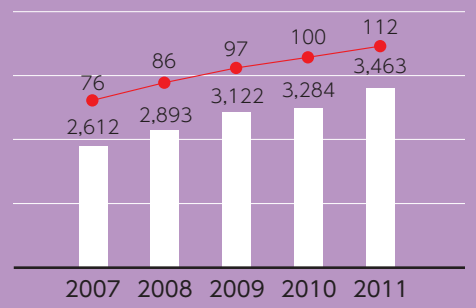
多くの要望に応えた「IL-X」が完成したことで、次の開発コンセプトを打ち出すのは難しくなっていますが、今後も常に市場に評価され、売れる製品を多く生み出していきたいと考えています。



# 「DK-SIS白書2011」DIGEST（ダイジェスト）

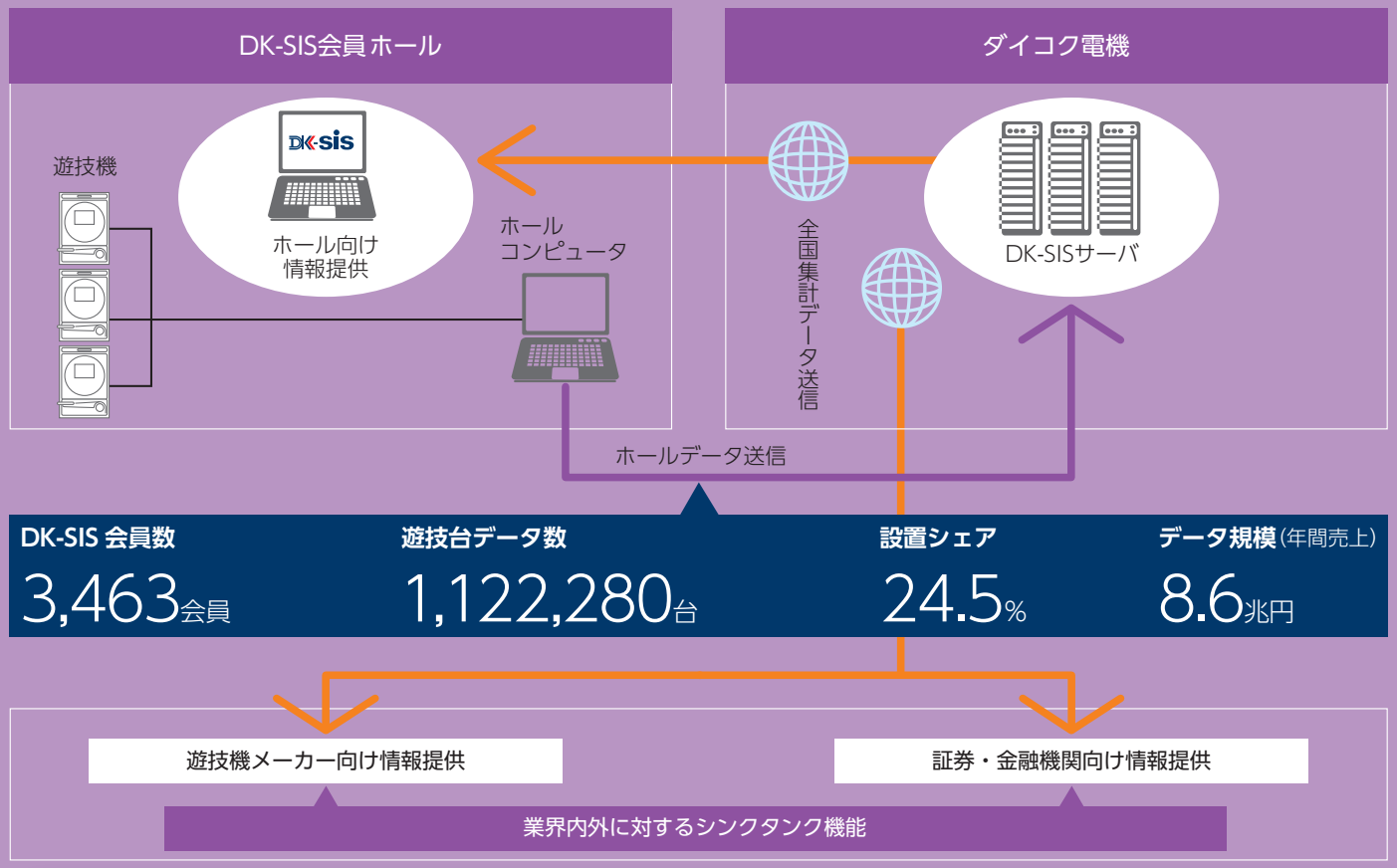
「DK-SIS白書」は、ダイコク電機の会員制情報提供サービス「DK-SIS」を通じて、会員ホールからお送りいただいた情報を収集・分析し、パチンコ業界の現状と今後の動向予測をまとめたレポートです。
ここでは、株主の皆さまに業界と市場へのご理解をより深めていただくために、その内容の一部をご紹介します。

**会員数・データ送信遊技機台数　推移グラフ**




**用語説明**

| | |
|---|---|
| 稼動時間 | 遊技機1台が1日に稼動した時間 |
| 売上 | 1日・1台当たりの貸玉(コイン)金額 |
| 粗利 | 1日・1台当たりの粗利金額 |
| 低貸玉営業 | 貸玉料を下げた営業形態 |

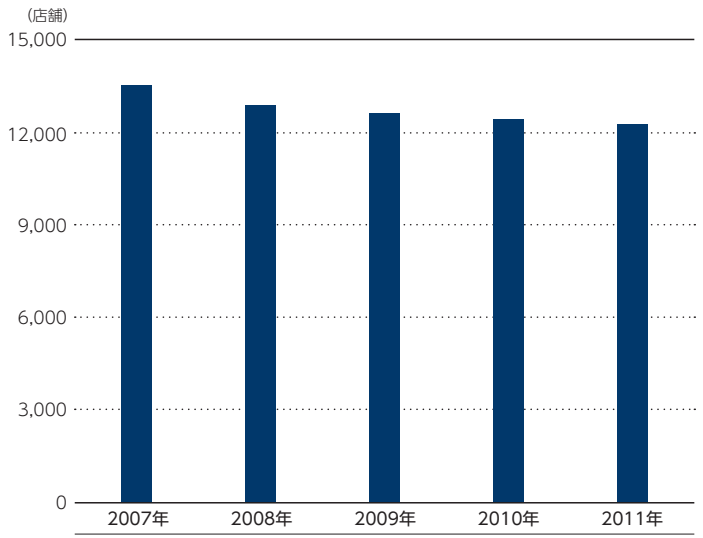



**DK-SISとは？**　「DK-SIS」は、1989年(平成元年)に店舗経営を支援する会員制システムとして誕生しました。パチンコホールの基幹システムであるホールコンピュータとダイコク電機とを専用回線で結び、日々の営業データを収集し、分析、加工後、パチンコホールに付加価値の高い各種データを提供する顧客支援システムです。

Point

# 店舗数の減少が続くも、全体の遊技機設置台数は微増。店舗の大型化がさらに進む。

## 店舗数の推移



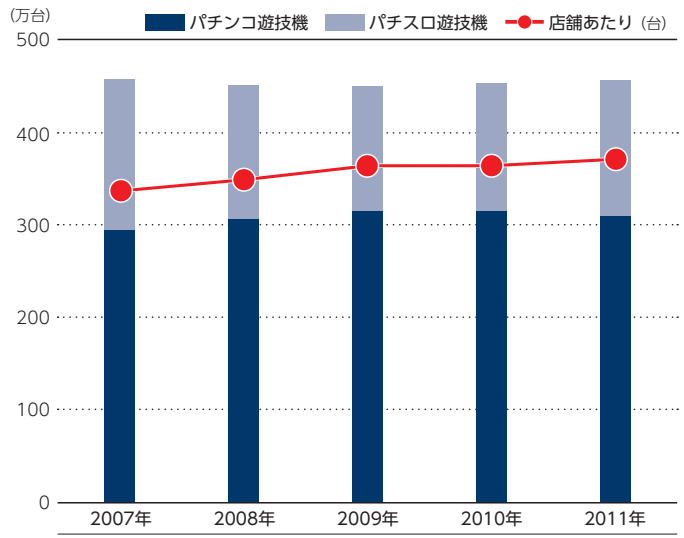

| | 2007年 | 2008年 | 2009年 | 2010年 | 2011年 | 対前年比 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| パチンコホール数 | 13,585 | 12,937 | 12,652 | 12,479 | 12,323 | △1.3% |
| うちパチスロ専門店 | 1,546 | 1,137 | 930 | 903 | 931 | 3.1% |

資料の出処：「平成 23 年中における風俗関係事犯等について」

全国の店舗数は2011年においても減少し、10年以上この傾向が続いています。

ただ、その減少幅はここ数年小幅に留まっています。そのようななか、パチスロの好調な業績を反映し、5号機へ完全に移行した2007年9月末以降初めてパチスロ専門店数が増加に転じました。

## 遊技機設置台数の推移




| | 2007年 | 2008年 | 2009年 | 2010年 | 2011年 | 対前年比 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 遊技機設置台数（万台） | 459 | 453 | 451 | 455 | 458 | 0.6% |
| パチンコ遊技機（万台） | 295 | 308 | 316 | 316 | 311 | △1.8% |
| パチスロ遊技機（万台） | 164 | 145 | 135 | 139 | 147 | 6.1% |
| 店舗あたり（台） | 338 | 350 | 365 | 365 | 372 | 1.9% |

資料の出処：「平成 23 年中における風俗関係事犯等について」

遊技機設置台数に目を向けますと、店舗数が減少したにも関わらず全体の遊技機設置台数は2年連続で増加しました。

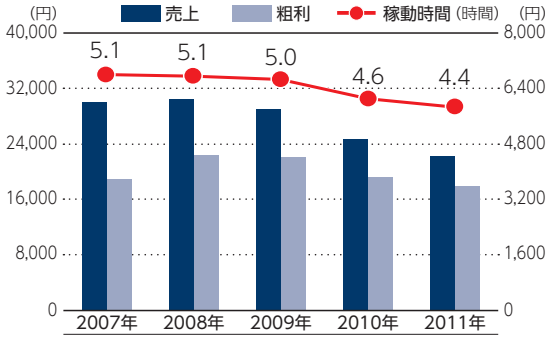
パチンコ・パチスロの種別では増加を続けていたパチンコ遊技機の設置台数が2005年以来の減少に転じた一方で、パチスロ遊技機の設置台数は大幅に増加しています。

これにより1店舗あたりの平均遊技機設置台数は372台と過去最高を更新しました。2011年において、設置台数500台以下の店舗は減少の一方、501台を超える大型店舗は増加しており、店舗の大型化が引き続き進んでいるといえます。

Point

# パチンコは4円パチンコの業績低迷により下落傾向が続く。パチスロは5号機へ完全移行後、最高業績を更新。

## 「DK-SIS」パチンコ動向の推移（パチンコ遊技機１台当たり）

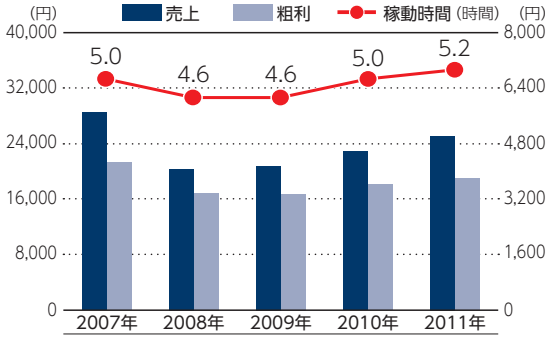



| | 2007年 | 2008年 | 2009年 | 2010年 | 2011年 | 対前年比 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 稼動時間 | 5.1 | 5.1 | 5.0 | 4.6 | 4.4 | △4.3% |
| 売上 | 30,146 | 30,496 | 29,044 | 24,729 | 22,210 | △10.2% |
| 粗利 | 3,788 | 4,473 | 4,424 | 3,838 | 3,608 | △6.0% |

パチンコ遊技機1台当たりの業績は、2010年と比較して稼動時間・売上・粗利ともに下落しました。

2009年以降下落傾向が顕著に現れており、特に4円パチンコの業績不振が続いています。

## 「DK-SIS」パチスロ動向の推移（パチスロ遊技機１台当たり）




| | 2007年 | 2008年 | 2009年 | 2010年 | 2011年 | 対前年比 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 稼動時間 | 5.0 | 4.6 | 4.6 | 5.0 | 5.2 | 4.0% |
| 売上 | 28,467 | 20,333 | 20,757 | 22,803 | 25,123 | 10.2% |
| 粗利 | 4,256 | 3,379 | 3,350 | 3,624 | 3,809 | 5.1% |

パチスロ遊技機1台当たりの業績は、パチンコとは逆に2009年以降、稼動時間・売上・粗利すべてで上昇が続いています。

2011年におきましてはパチスロの台粗利がパチンコを逆転し、5号機へ完全に移行した2007年以降では最高の業績となっており、低迷していた状況を脱したといえます。

## DK-SISで見る2011年遊技機動向

### ●パチンコ粗利貢献BEST5

| 順位 | 機種名 | タイプ | メーカー | 寿命週（週） | 期間平均台粗利（円） |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | CRリング呪いの7日間 | マックス | 藤商事 | （継続中）30 | 10,620 |
| 2 | CRリング呪いの7日間 | ライトミドル | 藤商事 | （継続中）24 | 8,960 |
| 3 | CRぱちんこ銭形平次 | ライトミドル | 京楽産業. | 40 | 5,411 |
| 4 | CRA新海物語 | ライト | 三洋物産 | 50 | 3,310 |
| 5 | CRヤッターマン | マックス | 平和 | （継続中）15 | 10,224 |
| | パチンコ平均 | | | | 3,608 |

2011年登場機種で最も粗利貢献した機種は藤商事の「CRリング呪いの7日間」のマックスタイプとなりました。また、2位にもライトミドルタイプが入っており、スペックや演出がファンに受け入れられた上に、発売当初比較的少なかった販売台数がファンの飢餓感につながり、長寿命かつ高い粗利貢献となった理由であると考えられます。

4位の「CRA新海物語」は期間平均台粗利は3,310円/日とパチンコ全体の平均値よりも低いですが、寿命週は50週とほぼ1年間高稼動を維持した2011年でNo.1の遊技機であり、ファンにとってもパチンコホールにとっても優れた遊技機だったといえます。

### ●パチスロ粗利貢献BEST5

| 順位 | 機種名 | タイプ | メーカー | 寿命週（週） | 期間平均台粗利（円） |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | モンキーターン | ART | 山佐 | 50 | 4,980 |
| 2 | 秘宝伝～封じられた女神～ | ART | 大都技研 | 31 | 7,211 |
| 3 | アイムジャグラーAPEX | ノーマル | 北電子 | （継続中）49 | 3,895 |
| 4 | ミリオンゴッド～神々の系譜～ | ART | ミズホ | 23 | 7,802 |
| 5 | 天下布武2 | ART | 山佐 | 26 | 5,758 |
| | パチスロ平均 | | | | 3,809 |

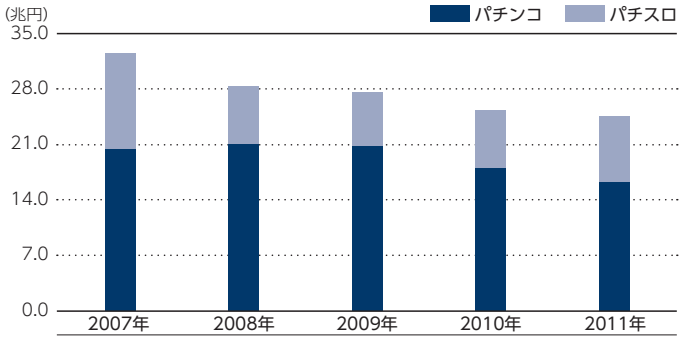
2011年登場機種で最も粗利貢献した機種は「モンキーターン」となりました。期間平均粗利は4,980円/日と他のランクインした機種と比べても高くはありませんが、寿命週が50週と非常に長い期間高稼動を維持していたことで粗利貢献が非常に高い結果となりました。

※寿命週・・・新機種が登場してその機種の稼動時間が「DK-SIS」の平均稼働時間を下回るまでの週

Point

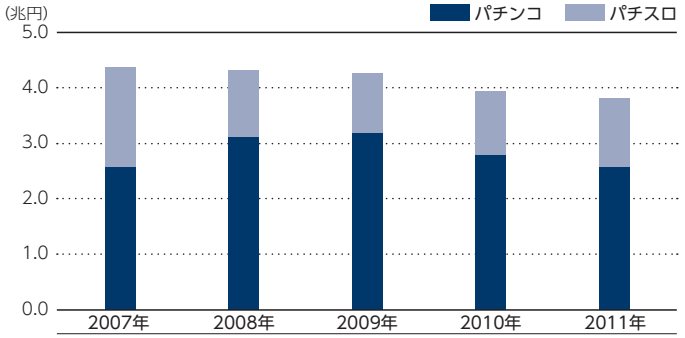
# パチンコホール全体の売上・粗利規模は下落傾向が続き、業界の総売上・総粗利は過去最低に。

### 「DK-SIS」の推測する市場売上規模の推移




| | 2007年 | 2008年 | 2009年 | 2010年 | 2011年 | 対前年比 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 売上合計 | 32.5 | 28.4 | 27.6 | 25.3 | 24.6 | △2.8% |
| パチンコ | 20.5 | 21.2 | 20.9 | 18.1 | 16.4 | △9.4% |
| パチスロ | 12.0 | 7.2 | 6.7 | 7.2 | 8.2 | 13.9% |

### 「DK-SIS」の推測する市場粗利規模の推移




| | 2007年 | 2008年 | 2009年 | 2010年 | 2011年 | 対前年比 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 粗利合計 | 4.37 | 4.32 | 4.27 | 3.95 | 3.82 | △3.3% |
| パチンコ | 2.58 | 3.12 | 3.19 | 2.80 | 2.58 | △7.9% |
| パチスロ | 1.79 | 1.20 | 1.08 | 1.15 | 1.24 | 7.8% |

パチンコ業界の市場規模（売上規模）を「DK-SISデータ」から推測しますと、業界の売上規模は約24.6兆円と若干ながら下落しました。また「DK-SIS」で業界の状況を表す最も重要な指標と考えている粗利規模は、約3.82兆円と下落傾向が続いており、市場を取り巻く環境はさらに厳しくなっているといえます。

パチンコ・パチスロ別で見ますと、業界総売上・総粗利ともにパチンコが下落したもののパチスロは上昇しました。パチンコの下落分をパチスロで補う状況となっていますが、パチンコの下落幅が大きいため、その全てを補い切れていないことがわかります。

### ●今後の業界動向推測

業界全体の市場規模は上記の通り、緩やかながら下落傾向が続いていますが、パチンコ・パチスロ別ではパチンコの低迷をパチスロの好調で補う構図が続いており、この流れは今後もしばらく続くものと想定されます。

現状における最も大きな問題点は、4円パチンコの低迷が続いていることです。パチンコ遊技機の入替依存の営業により、ファンに過度の負担（高すぎる時間粗利）を強いていることが4円パチンコのファン離れをさらに加速させていると考えられます。

確かにパチスロは好調ですが、本当の意味で業界全体を好転させるためには、営業のメインであるパチンコの復活が必須となります。「入替依存の営業からの脱却」と「ファンに対する負担の軽減」は急務の課題です。

市場の大まかな流れは変わらないものの、その中身は常に変化し続けており、店舗の業績を向上させるためには変化への対応力が重要な要素となります。

当社の「DK-SIS」におきましては、DK-SIS会員の営業データをベースとした業界分析から、業界の向かうべき方向性を示し続けることが最も大きな役割であると考えています。今後もご支援のほどよろしくお願いいたします。

## 会社概要

| | |
|---|---|
| 商　　号 | ダイコク電機株式会社<br>DAIKOKU DENKI CO., LTD. |
| 創　　業 | 1964年12月 |
| 設　　立 | 1973年 7月 |
| 資 本 金 | 6億7千4百万円<br>(発行済株式総数14,783,900株) |
| 本　　社 | 名古屋市中村区那古野一丁目43番5号 |
| 従業員数 | (単独)439名　(連結)647名 |
| 事業内容 | パチンコホール向けコンピュータシステムの開発・製造・販売<br>パチンコ遊技機用ユニット・パチスロ遊技機の開発・製造・販売 |
| 決 算 期 | 3月31日 |
| 事 業 所 | 4事業所、4支店、12営業所 |
| 関係会社 | DAXEL株式会社、元気株式会社 |

## 役員 (2012年6月28日現在)

| | |
|---|---|
| 代表取締役会長 | 栢森 雅勝 |
| 代表取締役社長 | 栢森 秀行 |
| 代表取締役専務 | 栢森 健 |
| 専務取締役 | 岩根 節雄 |
| 常務取締役 | 橋本 忠巳 |
| 取締役 | 齊藤 直 |
| 取締役 | 丹羽 時重 |
| 取締役 | 室町 雅紀 |
| 取締役 | 根本 弘 |
| 取締役 | 吉川 幸治 |
| 取締役 | 佐藤 信悟 |
| 取締役 | 栢森 啓 |
| 取締役 | 國保 徳丸 |
| 取締役 | 足立 芳寛 |
| 常勤監査役 | 伊東 幹夫 |
| 監査役 | 村橋 泰志 |
| 監査役 | 田島 和憲 |

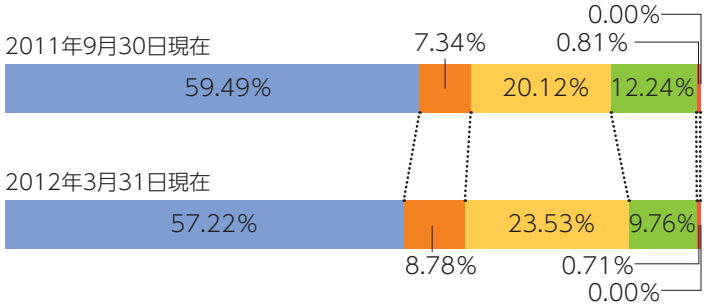
(注) 1.取締役 國保徳丸氏、足立芳寛氏は社外取締役であります。
2.監査役 村橋泰志氏、田島和憲氏は社外監査役であります。

## 株式の状況

| | |
|---|---|
| 発行可能株式総数 | 66,747,000 株 |
| 発行済株式総数 | 14,783,900 株 |
| 株主数 | 4,331 名 |

### 所有者別株式分布状況

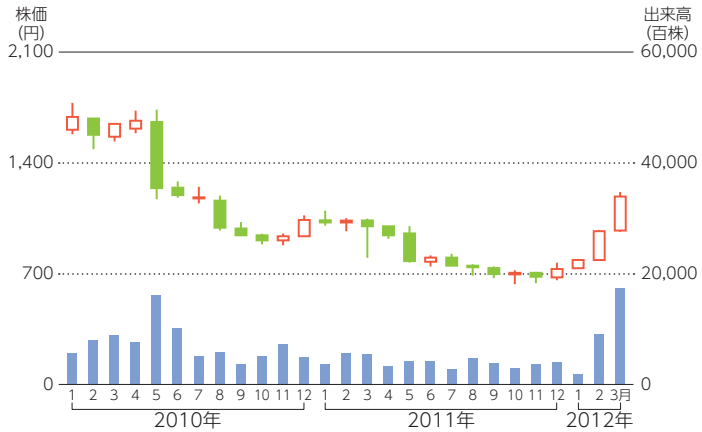
| | 2012年3月31日現在 | | 2011年9月30日現在 | |
|---|---|---|---|---|
| | 株式数(株) | 株主数(名) | 株式数(株) | 株主数(名) |
| 個人・その他 | 8,458,561 | 4,130 | 8,795,085 | 4,143 |
| 金融機関 | 1,298,300 | 26 | 1,085,200 | 25 |
| その他国内法人 | 3,478,600 | 67 | 2,974,000 | 65 |
| 外国人 | 1,442,499 | 78 | 1,809,310 | 71 |
| 証券会社 | 105,606 | 29 | 119,990 | 32 |
| 自己名義株式 | 334 | 1 | 315 | 1 |
| 合　計 | 14,783,900 | 4,331 | 14,783,900 | 4,337 |




## 大株主

| 株主名 | 持株数(株) | 出資比率(%) |
|---|---|---|
| 栢森　健 | 1,772,200 | 11.98 |
| 栢森　雅勝 | 1,587,050 | 10.73 |
| 栢森　寿恵 | 1,108,950 | 7.50 |
| 栢森　美智子 | 926,000 | 6.26 |
| 公益財団法人栢森情報科学振興財団 | 750,000 | 5.07 |
| 栢森　秀行 | 739,100 | 4.99 |
| ステート ストリート バンク アンド トラストカンパニー | 467,400 | 3.16 |
| 栢森　新治 | 437,150 | 2.95 |
| 栢森　啓 | 420,000 | 2.84 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 333,200 | 2.25 |

## 株価及び出来高の推移

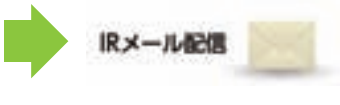


## ■ 電子メールによる当社IR情報の配信

当社は、投資家の皆さまへ電子メールによる IR 情報配信サービスを提供しております。ご登録いただいた皆さまには当社ホームページ(http://www.daikoku.co.jp)に新しい情報が掲載されたことをお知らせします。
IR 情報配信サービスをご希望の方は、当社ホームページにアクセスした後、「IR メール配信」ボタンから、簡単にご登録いただけます(無料)。

**www.daikoku.co.jp/ir**

ダイコク電機　IR　検索




## 株主メモ

| | |
|---|---|
| 事業年度 | 4月1日から翌年3月31日 |
| 定時株主総会 | 6月下旬 |
| 基準日 | 定時株主総会　3月31日<br>期末配当　3月31日<br>中間配当　9月30日<br>その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。 |
| 一単元の株式数 | 100株 |
| 株主名簿管理人 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号<br>三井住友信託銀行株式会社 |
| 同事務取扱場所 | 〒460-8685<br>名古屋市中区栄三丁目15番33号<br>三井住友信託銀行株式会社　証券代行部 |
| 郵便物送付先<br>電話照会先 | 〒168-0063<br>東京都杉並区和泉二丁目8番4号<br>三井住友信託銀行株式会社　証券代行部<br>TEL.0120-782-031(フリーダイヤル)<br>取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。 |
| 公告方法 | 電子公告によります。ただし、やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 |
| 公告のホームページアドレス | http://www.daikoku.co.jp |

## 配当金受取方法等について

### 「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付書類としてご使用いただくことができます。
＊確定申告をなされる株主さまは、大切に保管ください。

### 株主さまのご住所・お名前に使用する文字に関してのご案内

株券電子化実施にともない、株主さまのご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部又は一部をほふりが指定した文字又はカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。このため、株主さまにご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置換えられる場合がありますのでご了承ください。株主さまのご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

### 株券電子化後の配当金受取方法のお取扱い

株券電子化により、従来の配当金振込口座のご指定方法に加えて、あらかじめ登録した一つの預金口座で株主さまの保有しているすべての銘柄の配当金のお受取りや、証券会社の口座でも配当金のお受取りが可能となります。確実に配当金をお受取りいただくためにも、これらの振込みによる配当金のお受取りをお勧めします。詳しくはお取引証券会社等にお問い合わせください。

ダイコク電機株式会社
〒450-8640　名古屋市中村区那古野一丁目43番5号
TEL(052)581-7111(代表)
ホームページ　http://www.daikoku.co.jp

VEGETABLE OIL INK
FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C022915
UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。